

資産運用から住宅、シニア就業ガイドまで
第一線のエキスパートが最新動向とノウハウを解説

人生を楽しむ 「お金」入門

巻頭インタビュー 鳥越俊太郎

「準備なくしては乗りきれない」



シニア世代必読!
賢くお金を殖やす、稼ぐ遣う、守る
得情報

田舎暮らし・ロングステイ

平松庚三 小僧com代表取締役会長兼社長
年金だけで暮らす
京都・アジア
空き家バンク活用法、トレーラーハウスで旅暮らし、
アジアでマンスリー滞在ほか

就業・アルバイト

松本すみ子 シニアライフアドバイザー
月10万円の収入を
上手に稼ぐ方法
大人気! シニア派遣、ハローワーク活用法、
趣味を追求して起業! 会社員時代の年収超え

住まいと不動産

中山登志朗 東京カンテイ市場調査部
都心で1000万円台
お得な中古マンション
都心マンションで老後を快適に暮らす方法、
人気高齢者施設のサービスと料金比較ほか

資産運用

篠田尚子 リPPERジャパン ファンドアナリスト
円高チャンス到来!
資産作りは海外投資で
利回り20%の新興国投信、海外ETF、
高利回りネット定期預金、個人向け国債投資術

年金と退職金

藤川太 「サラリーマンは二度破産する」著者
本当に必要な退職後の
生活資金を算出する
年金額を知るための「年金定期便」活用法、
お金が貯まる家計を作る5つの法則ほか

趣味や特技を活かし、定年後に個人事業を開業する！

趣味・特技で収入を得る

宮仕えのサラリーマンを辞めたら、趣味や特技を仕事にするのは男のロマン。長年の趣味や特技があれば、工夫と行動力次第で事業化は可能だ。

リストラを機に趣味で起業を決意

定年後に趣味を個人事業に発展させてお金を稼ぐ――。そんなセカンドライフの理想像を実現したのが、京都の自宅で「てのひら工房」を開業した畑中義明さんだ。

畑中さんの趣味であり特技は、ミニチュア家具の木工製作。30代から始めていたが、50代のとき単身赴任のストレスを解消するため、和風ミニチュアに絞って製作を本格的に始めた。その出来栄はだれもが驚くほど精巧だったが、独立できるとは思っていなかったという。50代で早期退職し、独立に踏み切った理由とは？

「ミニチュア作りはあくまで趣味だったのですが、そろそろ仕

事もイヤになっていたころ、1日中ミニチュア作りだけやっていられたら楽しいだろうなという思いが募りまして。でも、それでは食べられないし……と思っていた矢先に、リストラ話が浮上。もう再就職は無理だし、子供たちも就職している。だったら、やってやれという心境になり、リストラを快諾したのです。家内も賛成し、応援してくれました」

百貨店で行った販売会は大繁盛に

開業資金は、ほとんどかけていない。自宅の6畳の書斎を工房にし、広めの玄関に照明を付けてギャラリィに。加工道具は、少しずつ買い足していったという。事業化のポイントになったのは宣伝方法だ。

「宣伝費はありません。まずホームページを苦心して独学で作りましたが、写真だけでは注文は来ませんでした。そこで多くの人に見てもらおうべく百貨店に展示販売を依頼。2度目にお許しが出て、1週間販売させてもらいました」

偶然、この展示販売の前に、ホームページを見たテレビ局から問い合わせがあり、テレビ局に出演した。この放送の影響があり、百貨店での販売は売り場がパニックになるほどの盛況ぶりだったという。

「その後もテレビ、雑誌、新聞から取材があり、多くの方を知っていたり、多くの方に。ですから、宣伝上の工夫は、この記事もそうですが、できるだけマスコミの方に扱っていただくことですね」

畑中義明氏(63歳)



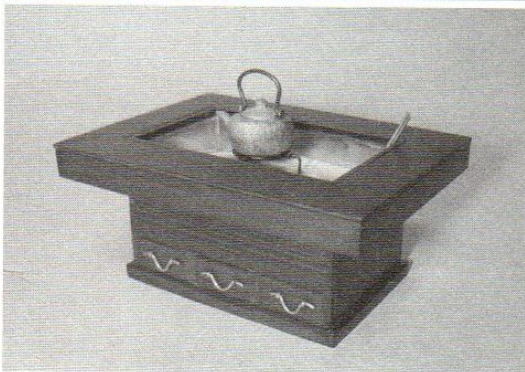
会社を退職した後、ミニチュア家具の製造販売を行う、「てのひら工房」を自宅で開業した。

注文が引きも切らずの状態になったのは、もちろん宣伝だけではない。お客さんが昔住んでいた家の部屋や置かれていた家具を写真から忠実に再現するなど、同世代のお客さんの心を刺激する面も大きいようだ。

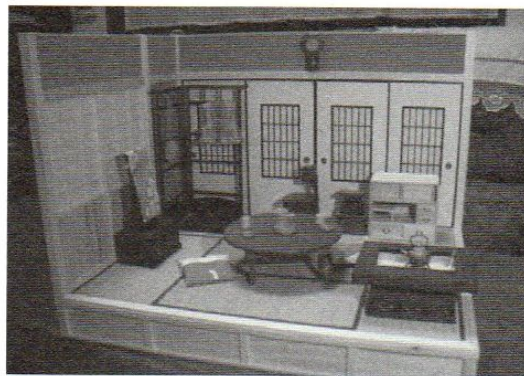
注文主の家の再現は応じきれず、その後は断っているという。現在、定番商品でも6か月待ちの状態になっている。

収入よりも喜ばれることが喜びになる

写真のように精巧な分、労力と時間が必要ということだが、



上の写真は広めの玄関を改装した自宅ショッポの風景。場所は京都だが、全国から電話とメールで注文がくる。下は京火鉢。サイズは横10cmと、てのひらに乗ってしまう小サイズ。http://www.se-highlobe.ne.jp/~tenohira/



上は古民家の茶の間を再現した作品。横38cm、縦29cm、高さ28cm。家具なしで5万円。下は昔の家の玄関。サイズは上とほぼ同じ。ごみ箱や郵便受けがリアルで懐かしい。6万2000円。

表1 ほかにもある！ 趣味・特技を活かしたビジネス事例

| | |
|------------|--|
| 個人ツアコン | 沖縄離島でのスキューバ旅行、タイでのロングステイなど、経験豊富な旅のツアーを個人で行う。 |
| パソコン出張講師 | 高齢者向きパソコン指導はニーズ大。自治体の会場を借りたり、メール指導などの方法もある。 |
| 植木職人 | 盆栽好きの人が定年後、剪定や造園の資格をとり、独立して仕事を得る。事例は多くある。 |
| 陶芸教室 | 自宅を陶芸教室にして自治体を経由して人を集める。自分で作った作品をネットで売るのもよい。 |
| 森林インストラクター | 日本園芸協会による資格あり。子供向け自然教室、中高年向き野鳥観察会などを開催する。 |

では採算面はどうなのか？
 「これで商業ベースにもっていくにはたくさん作る、すなわちスピードを上げるしかありません。しかし、一品ごとの手作りで、作り手は私ひとり、布物は家内が手伝ってくれます。丁寧がモットーですので、早くはできません。多く販売するよりも、お客さんに喜んでいただき、リピーターとなっていたことが喜びです。お金をいただいているのに、ありがとうといってもらえません」
 収入は、サラリーマン時代の3分の1程度だという。
 「私は起業といっても、計画性も資金もなく、好きなことやったら偶然、みなさんから支持されただけです。だから、偉そうなことはいえませんが、定年後は、起業するにしても、悠々自適にしても、好きなことがあることが人生を楽しくしてくれると切に思います。いかなる企業戦士でも、趣味を持つことをすすめます」